

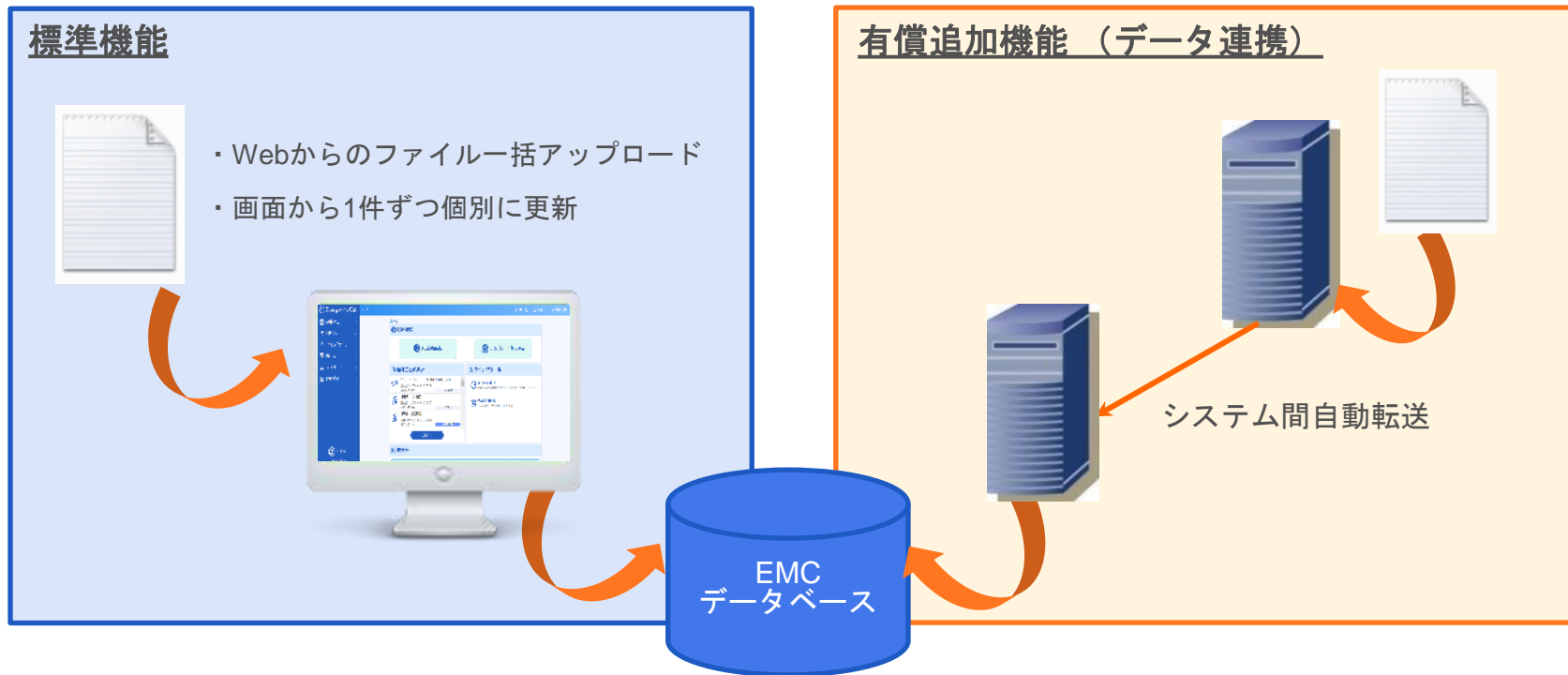


データ連携オプション（汎用型） ご説明資料



デジタルサステナビリティ事業部

■エマージェンシーコールのデータメンテナンス方法



※Webからのファイル一括アップロード定義と、自動連携のアップロード定義は別になります。
（別の内容を設定可能です）

人事データ連携とは、システム間でのファイル自動転送により、データを登録する方法です。
データ連携には以下 2 種類 があります。

- ・ 汎用型 : 本資料でご説明する仕様となります。
- ・ 独自型 : 汎用型要件からのご変更があれば、詳細の要件を確認し個別でのお見積り対応となります。

	汎用型	独自型
配信ファイル	エマージェンシーコールのファイルフォーマットに合わせたものをお客様側で生成	エマージェンシーコールのファイルフォーマットへの変換（加工）をインフォコム側で実施する等、汎用型で対応できない場合
接続・転送方式	SFTP	SFTP以外の方式 ※可否は要確認 <対応事例> IP-VPN、HULFT、NISMAIL等
費用	汎用型データ連携オプション 費用	要件に応じて変動
開始までの期間	<ul style="list-style-type: none">・ インフォコムでの設定作業は10営業日程で対応・ お客様内での仕組み構築作業が必要となり、期間はお客様での対応状況より異なる（短い場合は1か月程の事例あり）	要件やご発注時の状況で変動

【連携対象データ】

下記合計2ファイル（ファイル名固定、半角英数字）で連携いただきます。

- ・ 部署データ
- ・ ユーザデータ

※地域、検索ワード、グループ、権限などのマスタ情報は連携対象外です

【配信ファイルフォーマット】

エマージェンシーコール（以下EMCと表記）フォーマットにあわせた形式で転送いただきます。

- ・ 項目：ユーザ88項目、部署6項目（利用しない項目も、値はnullで連携いただきます。）
- ・ ヘッダー行：無し
- ・ 文字コード種別：SHIFT-JIS
- ・ 改行：1レコード毎に改行コード（CR+LF）
- ・ フィールド区切り：タブ
- ・ ファイル形式：テキスト

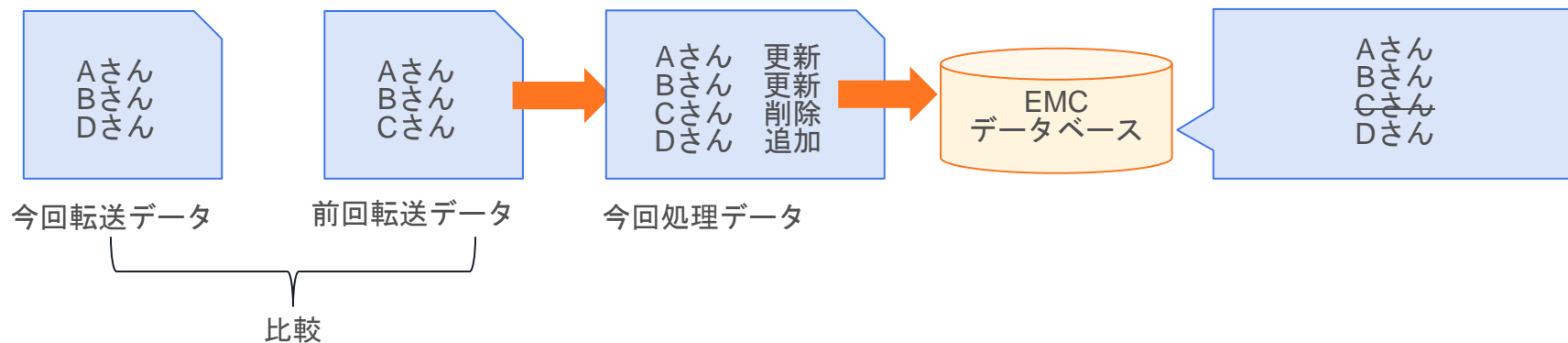
なお、データ内に下記文字は使用しないでください。

タブ文字	フィールド区切り文字以外のタブ文字
'	シングルクォーテーション
"	ダブルクォーテーション
/	スラッシュ
\	バックスラッシュ
¥	¥記号

【データ連携処理 ～ユーザID・部署ID～】

EMCデータ更新プログラム側は受信した連携ファイルと前回連携ファイルのIDの差分比較を行い、ユーザID・部署IDの新規登録、更新、削除を行います。

- ・今回受信した連携ファイルに存在し、前回連携ファイルに存在しないID（ユーザID／部署ID）の場合は【新規登録】
- ・今回受信した連携ファイルと前回連携ファイルの両方にID（ユーザID／部署ID）が存在する場合は【更新】
- ・今回受信した連携ファイルに存在せず、前回連携ファイルに存在するID（ユーザID／部署ID）の場合は【削除】



※データの不整合が発生するため、データ連携対象の部署・ユーザの追加および削除はWeb画面からは行なわない運用としていただきます。データ連携対象外の部署・ユーザであればWeb画面からの追加および削除も問題ありません。
※上記判定で連携を行うため部署データ、ユーザデータファイルは毎回配信時点で有効な全件データをまとめて配信してください。

【データ連携処理 ～各項目の値～】

各項目の値は、連携されたファイルの値に更新されますが、更新する/しないの処理定義を予め指定できます。

（各項目それぞれの値は前回連携ファイルとの差分の判断は行っていません）

データ連携で値を更新（上書き）するのか / 空欄の場合に登録データを削除するのかをご指定ください。

※指定フォーマットは別紙Excel

エマージェンシーコール 汎用版データ連携用ファイルフォーマット ユーザデータ

ファイル形式=TAB区切りテキスト、文字コード=Shift JIS、改行コード=CRLF、項目囲い文字=無し

No.	項目	文字種	最大桁	備考	新規登録処理		更新処理	
					連携データの項目に値がある場合	連携データの項目に値が無い場合	連携データの項目に値がある場合	連携データの項目に値が無い場合
1	処理フラグ	-	-	データ連携側で自動セット（nullで連携して下さい）		自動		自動
2	ユーザID	半角英数字	40		登録	エラー	更新しない	エラー
3	パスワード強制変更	半角英字	1	T=要、F=不要	登録	デフォルト:T	更新	更新しない
4	パスワード	半角英数字	16		登録	エラー	更新しない	更新しない
5	氏名	全角/半角	80		登録	エラー	更新	エラー
6	氏名(ヨミ)	全角カナ	80		登録	エラー	更新	エラー
7	氏名(英語)	半角英数字	80		登録	登録しない	更新	更新しない
8	言語	半角英字	2	ja=日本語、en=英語	登録	デフォルト:ja	更新	デフォルト
9	所属部署コード	半角英数字	30		登録	登録しない	更新	更新しない
10	兼務管理部署ID1	半角英数字	30	※値がある場合、一度現在設定されている兼務管理部署コード(1～10)を全て削除して新しい値を設定します。部分的な連携は出来ません。	登録	登録しない	更新	更新しない
11	兼務管理部署ID2	半角英数字	30					
12	兼務管理部署ID3	半角英数字	30					
13	兼務管理部署ID4	半角英数字	30					
14	兼務管理部署ID5	半角英数字	30					
15	兼務管理部署ID6	半角英数字	30					
16	兼務管理部署ID7	半角英数字	30					
17	兼務管理部署ID8	半角英数字	30					
18	兼務管理部署ID9	半角英数字	30					
19	兼務管理部署ID10	半角英数字	30					
20	保有権限1	全角/半角	50					
21	保有権限2	全角/半角	50					

【接続方式】

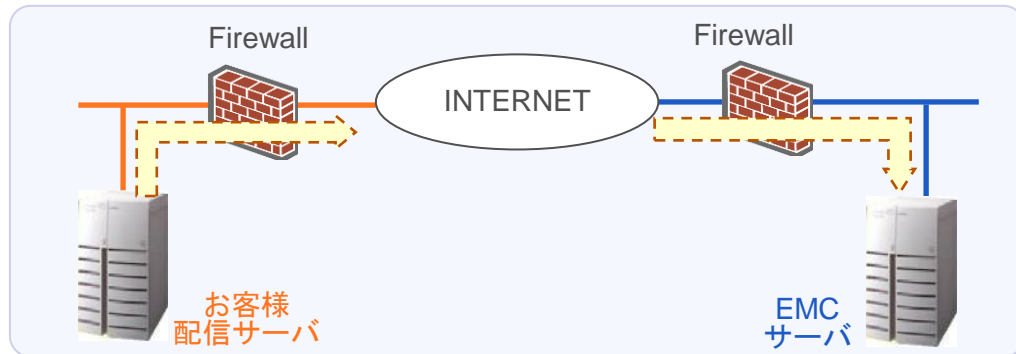
お客様サーバより、インターネット経由SFTPで
EMC側受信サーバに連携用ファイルを配信頂きます。

【タイミング】

毎日決まった時間に連携処理を実行します。（日次処理）

【その他接続要件】

エマージェンシーコールのサーバのIPアドレス、
ポートに接続できるように設定ください。

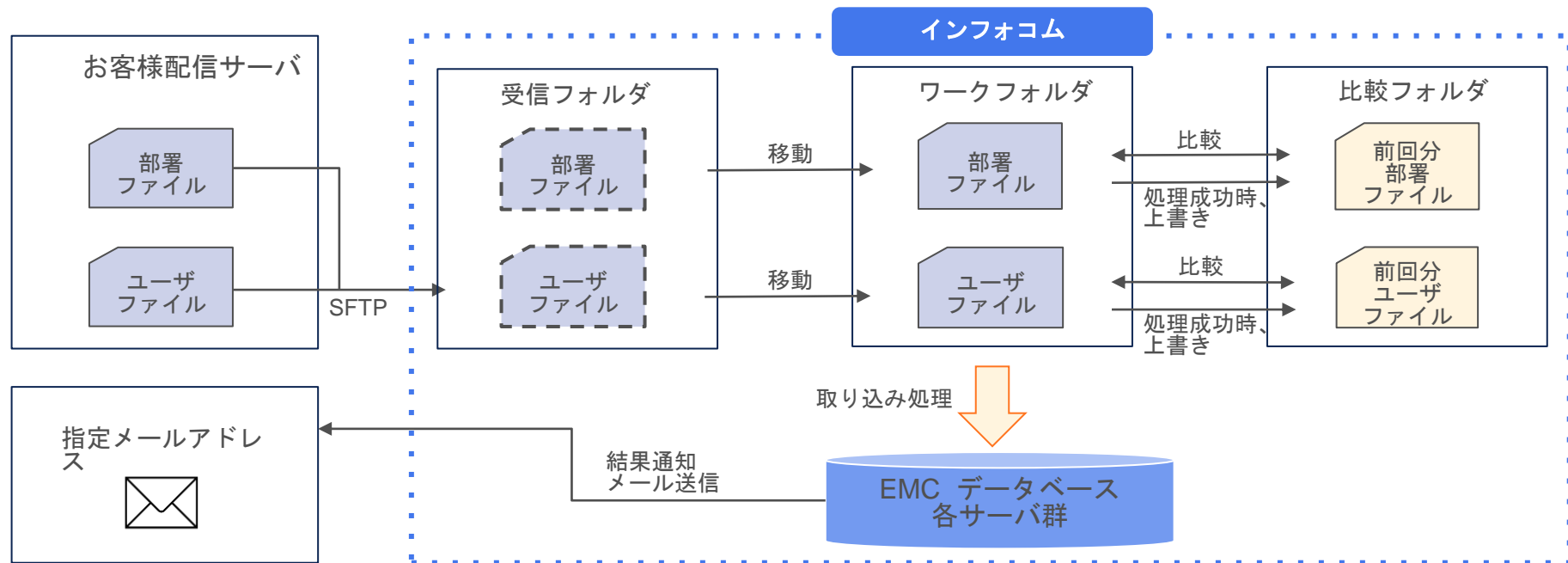


	項目名	指定	備考
IPアドレス情報	お客様配信サーバ IPアドレス		ご提示のIPアドレスのみ接続を許諾
	EMC SFTPサーバ		PORT:22 ※ポート番号は固定になります
FTP情報	ユーザID		8文字以上、16文字以下の半角英数字記号で指定
	パスワード		
	ディレクトリ	/data	
	配信ファイル名(部署)		32文字以下 半角英数字+半角記号（. ピリオド、_ アンダーバ） 大文字、小文字は区別されます
	配信ファイル名(ユーザ)		32文字以下 半角英数字+半角記号（. ピリオド、_ アンダーバ） 大文字、小文字は区別されます
	配信タイミング	毎日 時 までに配信	実行タイミングの30分前目安
データ連携情報	実行タイミング	毎日 時 分 実行	AM0:00～7:00頃までの間で指定。ご要望ある場合は個別調整
	結果メール配信先		8件まで、メーリングリストも可能です
	公開鍵認証有無（任意）		公開鍵は、別途ファイルで、お客様からご提供ください。 暗号化方式は「ssh-rsa」で作成下さい。

：お客様指定 ：弊社指定

【データ連携処理の流れ】

1. 定時の実行時刻になると配信ファイルの存在確認実施
2. 規定のファイルが存在していた場合、ファイルをワークフォルダに移動
3. 前回分ファイルとのファイル比較を行い差異があれば処理を続行 → 差異が全くない場合には処理はストップ
4. 前回分ファイルとのID存在比較を行い、新規・更新・削除の処理フラグを付与
5. データ取り込み実行



【エラー発生時の対応】

- ・ 自動送信される結果通知メールを確認し、お客様にてエラーの原因確認をお願いいたします。
エラー発生時の再度取り込み処理は原則は実施いたしません。

翌日の日次処理での取り込みとなります。

当日中に再度取り込み処理を行わないと運用上大きな支障がある場合などについて、サポートデスクにご依頼いただければ、再取り込み作業の調整を行います。

ご要望通りの作業実施を保証するものではございませんので予めご了承ください。

- ・ 調査等の保守対応はインフォコムのお営業時間内での対応となります。（営業時間外は対応いたしません。）

【エラー通知について】

- ・ 処理の結果は、メールにて通知します。（正常終了の場合も通知）
- ・ 決められた連携タイミングでファイルが存在しない（配信されていない）場合には、処理を中断、エラーメールを送信し処理を終了します。
- ・ データ連携処理実行タイミングでEMCが緊急連絡実行中だった場合には、処理を中断、エラーメールを送信し、処理を終了します。
- ・ 部署、またはユーザデータに1件でもエラーが発生した場合、部署、ユーザデータ全件についてDBの追加、更新、削除処理を行わずエラーを通知し、処理を終了します。

通知メール イメージ

件名: EMC-OK
本文:
処理結果: 成功
処理開始日時: (2016/04/21 4:30:01)
詳細メッセージ
-[受信]->[作業]フォルダへのファイル移動[部署][社員]
"- 前回処理とデータに変化あり[社員]、登録処理を行います
[社員]
- 前回処理とデータに変化なし[部署]"
- 機能は正常に終了しました。
社員データ前回 全件数: 11357
社員データ前回 有効件数: 11357
社員データ受信 全件数: 11285
社員データ受信 有効件数: 11285
社員データ 新規件数: 2
社員データ 更新件数: 11285
社員データ 削除件数: 70
処理終了日時: (2022/04/01 4:38:59)

件名: EMC-ERROR-D(Update NG)
本文:
処理結果: 失敗
処理開始日時: (2022/04/22 4:30:01)
詳細メッセージ
-[受信]->[作業]フォルダへのファイル移動[部署][社員]
"- 前回処理とデータに変化あり[部署][社員]、登録処理を行います[部署][社員]"
"- 受信社員情報ファイル、氏名の設定値が異常です。[line:1]"
"- 社員データ加工処理に失敗しました(必須項目チェック、コード設定)"
- 機能は処理を中断、もしくは異常終了しました。
社員データ前回 全件数:
社員データ前回 有効件数:
社員データ受信 全件数:
社員データ受信 有効件数:
社員データ 新規件数:
社員データ 更新件数:
社員データ 削除件数:"
処理終了日時: (2022/04/22 4:30:17)

【エラー処理について】

＜部署形式チェック＞

エラーが発生した場合にはエラー通知し、そのレコードまでで処理を終了します。（以降の処理には進みません）

- ・ 必須項目に値が設定されていないレコードのチェックを行います。

※その他、「部署ID」が重複している場合、最上位部署レコードが無い場合にもエラーとなりますのでご注意ください。

＜ユーザ形式チェック＞

下記チェックを行い、エラーが有る場合にはまとめてエラー通知し、処理を終了します。

（以降のマスタ存在チェック、DB更新処理には進みません）

- ・ 必須項目に値が設定されていないレコードのチェックを行います。
- ・ 「ユーザID」の重複チェックを行います。
- ・ ユーザデータ項目文字種チェックを行います。

対象項目：パスワード強制変更、言語、優先順位、リトライフラグ、ASAPフラグ、画面配色パターン、ユーザ情報確認状態

※緊急連絡1～10については、連絡先指定時、媒体、アドレス双方が指定されていることのチェックも行う。

＜マスタ存在チェック・DB更新処理＞

1 ユーザレコードごとに下記チェックを行います。下記チェックエラー以外の何らかのSQLエラーが発生した場合にはエラー通知し、そのレコードまでで処理を終了します。

- ・ ユーザデータの下記項目について、DB（または今回連携部署データ）にマスタデータが存在するかのチェックを行います。
（所属部署ID、地域名、兼務部署1～10、保有権限1～10、連絡先1～10媒体種別名称、検索ワード1～10）

※部署、またはユーザデータに1件でもエラーが発生した場合、部署、ユーザデータ全件についてDBの追加、更新、削除処理を行わずエラーを通知し、処理を終了します。

【エラー処理について】

＜その他エラー例＞

- データの整合性がとれていない場合、エラーになります。
例）社員データの所属組織が、部署データ（マスタ）に存在しない等の場合、処理エラーになります。
例）前回処理時に存在したユーザがWEB画面上から削除されている場合、処理エラーになります。
- 連携ファイルに必要な項目が不足している場合、連携項目の値の形式が誤っている場合、エラーになります。
※連携するデータ項目、各項目の処理内容（詳細仕様）についてはお客様とご相談の上決めさせていただきます。

＜処理結果通知内容＞

処理結果	成功／失敗
処理開始日時	処理開始日時（YYYY/MM/DD HH：MI：SS）
詳細メッセージ	処理経過の詳細メッセージ エラーの場合のエラーメッセージ等
組織（部署）データ前回受信件数	組織（部署）データファイルの前回レコード件数
組織（部署）データ受信件数	組織（部署）データファイルのレコード件数
組織（部署）データ新規件数	新規登録した組織（部署）レコード件数
組織（部署）データ更新件数	更新した組織（部署）レコード件数
組織（部署）データ削除件数	削除した組織（部署）レコード件数
社員（ユーザ）データ前回受信件数	人事（ユーザ）データファイルの前回レコード件数
社員（ユーザ）データ受信件数	人事（ユーザ）データファイルのレコード件数
社員（ユーザ）データ新規件数	新規登録した人事（ユーザ）レコード件数
社員（ユーザ）データ更新件数	更新した人事（ユーザ）レコード件数
社員（ユーザ）データ削除件数	削除した人事（ユーザ）レコード件数
処理終了日時	処理終了日時（YYYY/MM/DD HH：MI：SS）

データ連携開始時の主な作業内容と担当

NO	担当		作業項目	作業項目（詳細）
	お客様	インフォコム		
1	○		データ連携用データ出力項目決定	データ連携で設定するデータ項目を決定します。
2	○		データ連携用データ出力準備	お客様側のデータ連携用データ出力のツールやシステム等をご準備ください。
3		○	拠点間接続設定の情報提示	「拠点間接続設定シート」にインフォコム側での記入情報を記入し送付します。
4	○		拠点間接続設定の情報提示	「拠点間接続設定シート」にお客様側での記入情報をご記入、ご提出ください。
5	○	○	拠点間接続設定	ファイルが配信できるようにお客様側での接続設定を実施ください。 インフォコムでも記入いただいた情報を元に設定いたします（要 5営業日程）
6	○		データ連携項目処理の決定	「汎用版データ連携用ファイルフォーマット」にご希望の処理方法を記入いただき、ご提出ください。
7		○	データ連携項目処理の設定	「汎用版データ連携用ファイルフォーマット」の記入情報を元に連携処理の設定を行います。
8	○		疎通確認用ファイル配置	接続可能かの疎通確認としてテスト用ファイルを配信ください。
9		○	疎通確認用ファイル確認	テスト用に配信いただいたファイルが指定ディレクトリに存在しているか受信確認します。 （取り込みは実施しません。）
10	○		前回データとなるファイルの取得	※EMC上に既存登録データがある場合のみ 登録されている部署、ユーザデータを画面からダウンロードしてください。
11	○		前回データとなるファイルの配置	※EMC上に既存登録データがある場合のみ ダウンロードいただいたファイルから連携対象データを配信ください。
12	○		連携用データ配信	連携用データを配信ください。
13		○	連携用データの取り込み	連携用データの取得を行い、エマージェンシーコールへ取り込みを行います。
14	○		取り込み結果の確認	データが問題なく登録できているかどうかをエマージェンシーコール画面から確認をお願いします。
15		○	日次連携開始	日次での連携処理が開始されます。これ以降は日次で自動取り込み処理が行われます。

※データ連携実行用のテスト環境についてご用意はありません